

柏市第五次総合計画 総合計画審議会の進め方

平成26年11月5日
柏市

1. 審議の前提 (総合計画について)

(1) 柏市第五次総合計画策定の趣旨

- ◆ 総合計画 = 全てのまちづくりの計画の基本となるもの
- ◆ 「未来の柏」をどのように描くかを市民と共有し、進むべき方向を見誤らない羅針盤として策定

① 留意点 (人口減少と少子高齢化への対応)

- ◆ 人口も経済も“右肩上がり”の時代の、拡大基調を前提とした発想からの転換
⇒ 限られた経営資源の効果的な活用
- ◆ 高齢化対策等の個別の対応策だけではなく、移住・定住策や企業誘致等、行財政運営の基礎となる財源確保策等も必要



② 第五次総合計画で明確化すること

- ◆ 行政の経営資源 (ヒト・モノ・カネ) が限られる中、様々な地域課題の発生に伴って拡大する行政需要にどのように対応するか
- ◆ そのためには、施策・事業等に優先順位をつけ、経営資源をいかに戦略的かつ効果的に配分するか

1. 審議の前提 (総合計画について)

(2)総合計画の位置付けと総合計画策定条例

◆ 地方自治法の改正(H23.8施行)

基本構想を議会の議決を経て策定 ⇒ 策定・議決は各自治体の判断



今後の位置付け

- ◆ 目指すまちづくりを実現するための施策等を明らかにし、市政を総合的かつ計画的に進めるための指針と位置づけ
- ◆ 個別の部門計画は、総合計画の方向に沿う

⇒以上を明確化した「総合計画策定条例」を制定

1. 審議の前提 (総合計画について)

(3)策定の視点

①「何をすべきか」優先順位付け

- ◆ 今後はこれまでと異なる“右肩下がり”の時代
⇒行政需要の一層の拡大、でも厳しい財政状況
- ◆ 本市の持続的な発展のための、優先順位付け
 - ✓限られた経営資源の、真に必要な施策や事業への選択と集中
 - ✓全体最適の視点に基づき、優先的資源配分と相対的資源配分

②行財政運営の起点となる計画

- ◆ 限られた経営資源を常に最適な配分とし、最大限の効果を発揮するため、計画に基づくマネジメントの仕組み (PDCAサイクル) を機能させる
 - ✓総合計画に即した資源を配分 (予算、人事等)
 - ✓配分結果・進捗状況等を適宜管理 (決算、事業評価)
 - ✓その状況に応じて配分の見直し (計画、予算、人事等)

③部門計画との整合性を確保

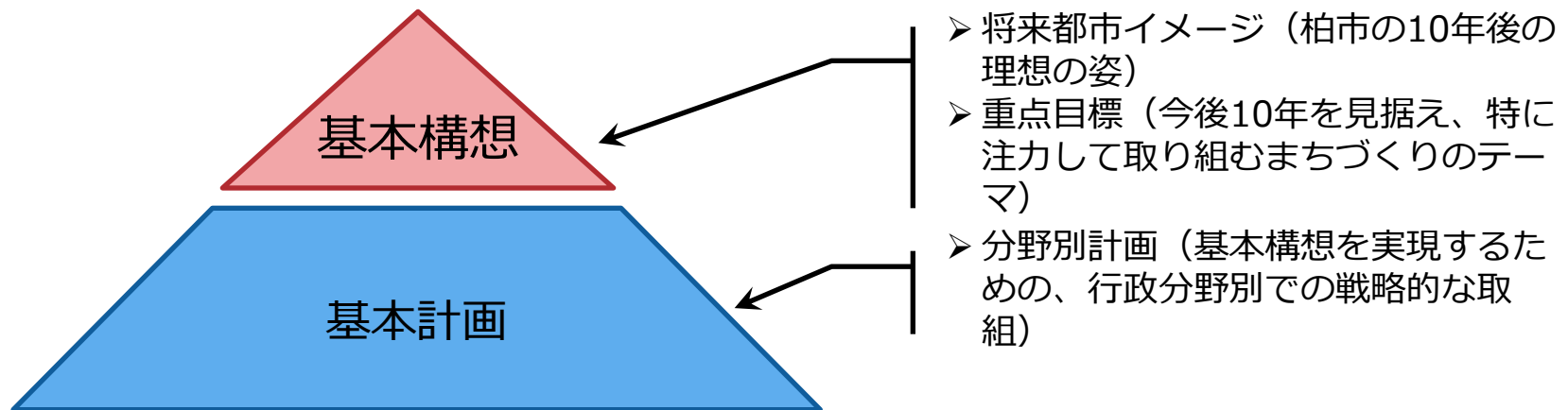
- ◆ 各部・課の部門計画策定における基本書として機能

1. 審議の前提 (総合計画について)

(4)計画の期間・構成

- ◆ 時代の変化に柔軟に対応するため、計画期間を短縮
第四次総合計画 = 15年 ⇒ 第五次総合計画 = 10年
(基本構想10年, 基本計画 = 5年)

- ◆ 計画の構造も簡素化
3層 (基本構想 - 基本計画 - 実施計画) ⇒ 2層 (基本構想 - 基本計画)



2. 審議の流れ (予定)

(1)平成26年度

- ◆ 基本構想の構成等、大枠の議論・審議
- ◆ 課題認識や方向性等について各委員のお考えを伺い、適宜、基本構想に反映

回	時期	主な議題(予定)	備考
1	11月5日	1. 諮問・委員委嘱	
		2. 市長挨拶	計画に期すること、考え方等
		3. 審議会の進め方について	課題認識、審議内容と開催予定等
		4. 柏市の現状と将来の課題	第四次総合計画の振り返り等
		5. 柏市の人口推計	人口の見通しについて認識の共有
2	12月下旬	1. 次期計画にて意識すべき課題認識(意見交換)	第1回の各説明(特に人口推計、課題認識等)を踏まえた、各委員の課題認識
3	1月中旬	1. 次期計画にて取り組むべき方向性(意見交換)	第1回の各説明(特に優先順位付け等)や、第2回での課題認識を踏まえ、まちづくりにおける選択と集中のあり方(特に重視すべき取組等)について
4	2月下旬	1. ワールドカフェ(庁内・市民)開催結果(報告)	庁内外の検討活動の結果報告
		2. 基本構想(案)の方向性や構成	基本構想案の確認
		3. 次年度の予定	

2. 審議の流れ (予定)

(2)平成27年度

- ◆ 基本構想の重点目標を踏まえた、基本計画で示す各分野の方向性や施策体系等について
- ◆ 取組の方向性の過不足等大枠の議論・審議

回	時期	主な議題(予定)	備考
5	5月	1.重点目標から見た基本計画の考え方①	
6	6月	1.前回の審議結果	前回の議論の結果と反映状況等の確認
		2.重点目標から見た基本計画の考え方②	
7	7月	1.前回の審議結果	前回の議論の結果と反映状況等の確認
		2.重点目標から見た基本計画の考え方③	
		(事前確認・調整)	第7回の議論の反映状況 パブリックコメント(8月)の実施結果、反映状況
8	10月	1.パブリックコメントの結果	実施結果報告
		2.答申	